

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第5回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的な審議（公開）

（1）自主的審議事項について

3 開催日時

令和6年10月29日（火） 午後6時30分から午後8時まで

5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：保坂裕子（会長）、片山泰幸（副会長）、小山和美（副会長）
稲葉恵子、稲葉里美、上原忠勝、梅川康幸、小竹剛志、竹内 望、
竹田真美、和田健志、渡部知世
- ・ 意見交換アドバイザー：竹内浩行
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

9 発言の内容

【小池副所長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は保坂会長が務めることを報告

【保坂会長】

- ・ 会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：渡部委員、稲葉恵子委員に依頼

— 次第2 自主的な審議（1）自主的審議事項について —

【保坂会長】

次第2 自主的な審議（1）自主的審議事項について に入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

前回の会議では2班に分かれて地域の課題や関心があること、地域協議会で取り組みたいことなど、ざっくばらんにいろいろなご意見を出していただいた。

本日は、前回の話し合いの中で「地域のことをもっと知りたい」というご意見があったことから、正副会長と協議した結果、令和3年に作成された「三郷のあゆみ」について、当時、編集委員長であった保坂会長からご説明をいただくこととした。

また、前三郷区地域協議会会長で、現在は三郷まちづくり振興会の副会長である竹内浩行さんにおいでいただき、三郷区の現状やまちづくり振興会についてお話をうかがい、今後の自主的な審議の参考とさせていただきたいと思う。

【保坂会長】

まずは、私から「三郷のあゆみ」について説明させていただくが、全部話をする
と長くなるので肝心な部分だけお話をさせていただきたいと思う。

お手元に配られている資料をご覧ください。最初に、なぜ「三郷のあゆみ」
を作りたかったか、ということをお話ししたい。資料にもあるように昭和36年に
三郷村史が発刊されたが、それ以降は三郷に関わる記録が全くなかった。三郷村史
から60年の歳月が流れ、何か残しておきたいという思いがあったが、自分のお金
ではなかなかできずにいたところに、100%補助となる市の地域活動支援事業補
助金のことを知り、それを活用して冊子を作成し区内各家庭に配布した。

それでは三郷区の沿革から、かいつまんで話をしたい。

明治22年に、武士郷の四ツ屋村・西松野木村、高津郷の本長者原村・天野原新
田村、新田郷の新長者原村・本長者原村・今池村・藪野村・辰尾新田が合併して三

郷村が誕生した。このように三つの郷の一部が集まってできたので三郷村と名付けられたものである。12年後に高士村の下稲塚と東稲塚新田が合併し、大字の数が11になった。その後、時代が下って町名の変更や合併等を経て、現在の11町内という形になった。

次に地域自治区の設置ということで、私たち三郷区地域協議会についても触れている。平成17年の市町村合併を期にそれぞれの地域の特性を生かしたまちづくりを実現するため、旧町村の範囲を単位とした地域自治区が設置され、平成21年には、合併前の上越市の地域にも地域自治区が設置された。これにより三郷区でも市長から選任された三郷区住民12人による三郷区地域協議会が設置され現在に至っている。「三郷のあゆみ」作成時の令和3年では「三郷区の郷土芸能無形文化財春駒の伝承」と「三郷地区公民館の整備」を自主的審議事項のテーマとして協議を進めていた。

一方、三郷まちづくり振興会は、三郷地区町内会長協議会と三郷区地域協議会が中心になって協議を進め、平成30年に発足した。地域の特性を生かしたまちづくりの地域振興の解決に取り組むため、市から受託している地域支え合い事業など地域福祉推進のための事業を実施しているが、その辺の状況については後ほど竹内さんから詳しく説明していただきたい。

続いて幹線道路の整備ということで、国道18号（上新バイパス）の整備や工事に伴う今池遺跡の発掘調査、県道青柳高田線に関する改修期成同盟会の活動、長者原交差点から下稲塚交差点間の歩道整備等について記載しているが、今池橋の架け替えや県道板倉直江津線の改修工事も含め、地域住民の利便性が向上したものと考えている。

生活インフラの整備では、下水道、都市ガス、下水道、上水道の整備状況をはじめ有線放送の設置経緯やケーブルテレビジョン開局、ほ場整備の進捗状況について記載している。

次に、人口・世帯数のページをご覧いただきたい。

人口については上越市全体、三郷区ともに減少しているが、桜町ができたことで減少度合いは少し緩やかになっており、小学校における桜町の児童数も多い。人口

の推移については、終戦直後は疎開引き上げで一時的に増加したが、以降はずっと減少している。年齢3区分人口では、それぞれの年代でどのくらいの割合を占めるか見ていただけるが、高齢化率は市平均を上回っている。ただ、これは2015年時点のデータであるので、現在はさらに高くなっているのではないかと考えている。

町内別世帯数については、大正9年と昭和30年と令和3年を棒グラフで表しており、町内によっていろいろ変化があることが分かる。世帯数なので実際の戸数と合致していない部分もあるが、参考資料として令和3年1月1日現在の調査による町内別戸数も記載している。空き家も増えてきているが、区外から空き家に転居されてきた方が何人かいるとのことであり、そうした形での世帯数の変動もあることを実感した。

私としては、子どもたちの数が減ってきて三郷小学校が廃校になるというような状況ではあるが、それでも元気に頑張っている地域の方もいるので、そうした皆さんの知恵をお借りしながら、みんなで力を合わせてこの地域のために何かやってくれることはないか、委員の皆さんで一生懸命話し合っただけであればと思っている。そのための基礎資料としてご覧いただければと思う。

最後に、三郷小学校開学の基をつくられた渡部健蔵先生についてご紹介させていただきたい。お配りした資料は三郷小学校の教育補助員の方が、3年生の総合的な学習の時間を使ってまとめられたものである。

天野原新田に生まれた渡部健蔵先生は上越教育の父ともいわれており、三郷小学校をつくるために土地とお金を寄付した方である。また、現在の高田高校の5代目の校長として学校の危機を救った方でもある。その危機とは、明治20年の一県一校の中学校令に伴い、新潟と高田にあった学校のうち高田学校（高田高校の前身）の廃止が決定されたことである。当時、中頸城郡長であった渡部健蔵先生が教育の灯を絶やしてはいけないということで、郡長の職を辞して私立高田尋常中学校の校長となり、学校を存続させたのである。その後、高田中学校は公立として復活することになる。

また、明治30年には師範学校令が改正され、新潟県でも師範学校の増設が決まり激しい誘致争いが起きた。渡部健蔵先生は誘致運動を展開し、高田に師範学校が

開校されることとなった。それが昭和57年まで続いた新潟大学教育学部高田分校芸術科につながる。余談だが、私が就職した頃はまだ古い校舎があった。

また、渡部健蔵先生は高田高等女学校、現在の北城高校をつくるためにも非常に尽力された方でもある。このように上越市の教育のことをいろいろ考えてくださった方が地元出身であり、そのスタートが三郷小学校であったということも非常に感慨深いものがある。少し長くなってしまったが、私からの説明は以上である。

次に、竹内さんから三郷区の地域の状況や三郷まちづくり振興会について説明をお願いします。

【竹内意見交換アドバイザー】

現在、三郷まちづくり振興会として動いているが、振興会設立については先ほど保坂会長のお話にあったとおり、三郷を良くしようという思いで生まれたものである。65歳以上の方々を介護状態にならないように予防していくという趣旨の地域支え合い事業というものがある。かつてはJAに委託され、昔の三郷デイサービスのところで行っていた。その後、それをある程度地域で受けるという方向性が示されたが、三郷区では受け皿がなかった。そこで三郷区町内会長協議会の中で協議したが、なかなか受けられないということで、三郷まちづくり振興会を設立することとなった。その過程でまちづくり活動もやろうという話になり、地域の中には各種団体がたくさんあるので、その辺の人たちを巻き込んで連携しながら、三郷のまちづくりも含めて福祉事業を進めていこうということで現在に至っている。まちづくり振興会には多くの組織が繋がっているが、それらを束ねるというよりも皆で連携しながら、いろいろなことをやっていこうという形になっている。

しかし、発足して5、6年経ったが、なかなか連携が取れないという現状であり、今年の4、5月頃から一旦活動休止というか、もう少し体制を見直すために保坂会長を座長として情報交換会を開催している。横の繋がりが難しい、各種団体で行う行事に他団体も繋がっていけないなどの課題の解消を目指しているが、肝心の役員体制を確立できていない。もともとは町内会長協議会の中から会長を選出してきたが、町内会長協議会の皆さんがなかなか忙しく負担が大きいとのことである。今年度は私と下稲塚の方の2人で統括という形で回しているが、大きなイベントである

夏祭りに参加したり、いろいろな形で横の繋がりをつなげながら頑張っているところである。今年度末までにまとまるかわからないが、何とか役員体制を整えて、新年度に向かっていきたいと思っている。

地域支え合い事業に関しては、65歳以上の方が介護状態にならないように体操などを行っている。各戸にもご案内しているカレンダーに基づいて、週2回、火曜日は介護体操、木曜日はサロンをやっている。サロンは認知症について学んだり、相談教室のような形でやっている。また、出前サロンということで各町内会の公民館を回って事業を行っている。見学でもよいので、興味ある方は参加していただければと思う。今年から、体操が終わった後みんなでランチに行くという企画を実施している。バスで迎えに来てもらってランチ会場に移動し、軽くソフトドリンクを飲んだり生ビールを飲んだりして非常に和やかで、皆さんにこやかに参加してもらっている。これまで要介護の方は参加できなかったが、最近では軽い介護の方にも参加していただき、介護状態を回復するような体操を行う形に事業内容が変わりつつあるので、正式に決まれば皆さんにお知らせしたいと思う。

買い物ツアーについては、市の地域独自の予算事業補助金を使いながら、年3回市内ショッピングセンターで半日ぐらい過ごしてお昼を食べて帰ってくるような形でやっている。もう少し楽しい企画ができないか考えており、お花見ツアーとかいった話も出ているので、実現に向けて検討していきたい。

三郷まちづくり振興会に繋がっている各団体とどのように連携できるかということが一番の問題であって、皆さんの行事と我々のやっている行事のコラボレーションが難しい。連携の例として、団体が地域独自の予算事業を活用する場合などには、まちづくり振興会で申請業務の代行などの支援ができるので、各団体の方と横の繋がりを取りながら一緒に対応できればと思っている。体育振興会も地域で運動会などやっているのので、そうした事業への協賛も必要と考えている。

P T A や子ども会については小学校行事が主となると思うが、我々としてはなかなか入っていけないところがある。ただ、小学校の廃校に関しては、いろいろな形で関わっていきたいという話もさせてもらっている。

まちづくり振興会のコーディネーターが公民館に午前9時から午後3時まで常

駐しているのです、わからないことがあればご相談いただきたいと思います。地域の皆さんの声を拾いながら、いろいろな行事につなげていければ一番よいが、支え合い事業が少し重荷になっていることは確かである。そうした現状ではあるが、皆さんのご意見から実現可能なものがあれば事業に反映していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

次に地域の状況について少しお話しさせていただきたい。

三郷区では町内会長協議会が地域における最高決議機関のような位置付けであり、我々まちづくり振興会としてもそこで決まったことに沿って動いていかなくてはいけないと思っている。今、一番問題になっているのは三郷小学校の統合問題であり、統合スケジュールも令和8年4月からと決められてカウントダウンに入っている。町内会長協議会の中では記念式典等を検討しており、そういう情報もいただきながら連携していければよいと思っている。小学校の跡地利用についても町内会長協議会の中で別組織を作りながら協議が進められている。私もメンバーに入っているし、今年の8月には市長宛で要望書を提出している。各町内会からお話も聞いているかと思うが、要望書の内容は、三郷小学校跡地を三郷のコミュニティプラザにしてほしいというものである。三郷小学校を拠点として、市の行政も関わるようなコミュニティプラザを整備してほしいということで話をさせてもらっている。この話が今後どう進んでいくか、さらなる要望書の提出も視野に入れながら町内会長協議会会長といろいろ話し合いを行っている。例えば、三郷まちづくり振興会もそこに入りながら福祉事業もやり、体育館も活用していければと考えている。福祉事業のことを考えると、やはりエレベーターが必要ではないかというような話も出ているので、それも次の要望書の中に加えていきたいと考えている。現時点では行政の動きが見える状況ではないが、町内会長協議会と連携して我々まちづくり振興会も動いている。

次に地域のほ場整備の状況についてであるが、三郷全域で250ヘクタールほどの田んぼがある。今池地区で50ヘクタールぐらいのほ場整備がほぼ完成しているし、バイパスから中江用水までで200ヘクタールある。下四ツ谷の角のパプリカのハウス横でため池の工事をやっている。ため池ができないと、そこから下ってき

た田んぼの面工事できないが、ため池だけでもあと2、3年かかるかと思う。

ほ場整備に伴って、本当は和田にあるアーバンビレッジのような団地造成もしたいという構想もあったが、なかなかそういうのは厳しいということで、まだその辺はできてこないのかと思っている。ちょっと団地造成をして桜町よりもう少し小さい団地を造りながら、移住してくる方々も呼んだらどうだという話も出ている。

三郷区でも空き家がかなり出ているというところで、そういう空き家を活用しながら、農業をしたい方を招いて地域を活性化したいと考えている方もいる。そういう人たちの意見を拾い上げながら実現に向けて頑張っていきたい。

個人的に興味があるのが本長者町の発掘調査であり、県も非常に力を入れている。元町の神社というか公民館のところに表示盤があると思うが、結構大きな基礎の石が出てきたと書いてある。「三郷地区の歴史と史跡を研究する会」でも遺跡調査にかなり力を入れている。もし遺跡が国分寺だったということになるとほ場整備の工事がストップするくらい大きな問題になってくるが、これも三郷区が有する一つのアイテムであると思う。発掘の状況について、今後皆さんも興味を持って見ていただければと思っている。

最後に、まちづくり振興会もこれから少し変わっていこうとして動いているので、皆さんのお力も借りしたいところである。今の町内会長はお勤めの方も多く自分の町内で精一杯で地域のことまで見られないという方もいるが、三郷区全体を見渡して、自分の町内だけではなく三郷区全体を何とかして活性化したいという気持ちを持ちながら頑張っていたいただきたいと思っている。

【保坂会長】

遺跡調査について少し補足説明をすると、三郷区にかつて国分寺があったのではないかということをおかれていて、新潟大学の先生からも調査してもらっているが、なかなか決定的なものがなくてわからない状態である。741年に聖武天皇が国を宗教によって統治することを目指して国分寺を建立したが、北陸地方でも他では全部明らかになっていて発掘状況もわかっているが、新潟県だけわからない。佐渡ははっきりわかっている。11月9日にオーレンプラザで「こしのくに国府サミット」が開催され、「三郷地区の歴史・史跡を研究する会」も活動報告をされる予定である。

三郷区の成り立ちや三郷まちづくり振興会の活動状況等についてお話を聞いていただいたが、すぐに頭の中で整理するのは難しいと思う。単純にこれはどういうことなのかなという疑問でもいいので、質問、意見のある方は遠慮なく挙手にて発言いただきたい。ないようなら順に感想をお願いしたい。

【小竹委員】

今回お二人の話をいろいろお聞きしたが、三郷まちづくり振興会については知らなかった。町内会については、集落の人数が少なくなって町内会長がほとんど役員になっている。私の考えだが、人数の少ないところがいくつか集まって町内会長を決めるというのもよいのではないかと思う。こういうことはどこに相談すればよいか。

【保坂会長】

その辺はよくわからないが、まず町内会長に相談してみて、その意見を町内会長協議会のほうで検討していただくのが筋かと思う。

【竹内委員】

全然知らないことばかりで目からうろこだった。特にこんなに地域の団体があることは知らなかったが、多過ぎるような気もする。各団体が具体的に何をやっているか私もまだ理解していないが、名前だけ見ても一緒に活動できるのではないかというものもあるのではないか。いくつかでまとまることができれば、人数も増えるので、そこでまた別の動きができるようになるのではないかと感じた。

渡部健蔵先生については、三郷小学校、高田高校に通っていたが知らなかったので、こういう歴史的なものは何かしらしっかり残して子どもたちに継承できればいいと思うので、その辺もいろいろと考えていきたい。

【保坂会長】

たくさん組織はあるが学校関係もいくつかあるので、小学校が統合された後どうなるかは課題として上がってきていて、不透明な部分ではある。また、その時点で組織再編があるかもしれない。

【竹田委員】

私の知らない内容でとても興味深く面白いなと思った。「三郷のあゆみ」を探した

のを見つけることができなくて、まずそこが私は何をしているのだろうかと思った。家のどこかにあるとは思いますが、この抜粋していただいたところだけ読んでもこんなに面白いのに、全部に目を通してなかったという反省から始まった。

この地域協議会、町内会長協議会、まちづくり振興会とこんなにたくさんの団体があるというのも、うすうすは知っていてもやっぱり表として見ると知っているのもあれば、何だこれはというのものもある。自分が所属しているところはわかって、他のところはなかなか内容がわからなくて、そういうところも勉強不足だなと思って反省した。

【和田委員】

私も渡部健蔵先生に関して全く知らなかったが、自分の子どもがちょうど小学校3年生で、先生のことを学んで文化祭で劇をした。改めて資料を見ると子どもたちが学んだことも、自分たちは何も知らなかったということ気付かされた。

まちづくり振興会については、皆さんと一緒に何をやっているのかわからないところもあったし、一つ一つの団体が年間でどういう活動をしていて、どういう構成メンバーでやっているのか疑問に思ったところである。活動内容によっては一緒にできることもあるのかなと思う一方で、役員さんは重複していることが多いという印象がある。違う団体でも同じ役員の人がいろいろやっていて、一人の負担が大きかったりするのかなと思う。私は体育振興会に入っているが、グループLINEで他の団体さんのイベント情報が届く。そういう点では連携されているのだと思う。体育振興会に入っていなかったらそういうイベントの情報とかはわからなかったと思うし、発信がないので住民の皆さんは多分知らないのだろうなと思った。情報発信をして、三郷区でもいろいろな活動をやっていることを地域の人にも知ってもらう機会をもっと増やしていったら、何か地域を誇りに思えたりもするのかなという印象があった。団体がたくさんあるので、どういう活動をしていて、三郷区にどんな貢献をしているのか、もう少し知りたいと思った。

【保坂会長】

私が座長になった情報交換会のグループでグループLINEを作った。その中で、例えば歴史の会で今度こういうイベントがあるとか、ENJOY35で佐藤ひらり

さんのコンサートをやるので皆さんに声をかけてとか発信した。団体の代表の方がそこで発信すると、自分の持っているグループLINEの仲間にもそれを伝えてもらうシステムである。情報交換会の仲間の話し合いの中でも、結局一つの発信だけだとなかなか住民に伝わっていかない。紙ベースでいい人、そういうスマホ経由のグループLINEで情報を得る人、みんなそれぞれ違うので情報を流す上においてもいろいろな手法を使っていくとよいのではないかということになり、一工夫させてもらった。和田委員のお話を聞いて作ってよかったなと思っているし、もっといい形にしていきたいと思う。

【渡部委員】

全然知らない話をお聞きすることができて面白かった。三郷小学校に通っていたので、髭のおじいさんがどなたか正体がわかったという気分である。三郷区にも多くの団体があるのだなと思った。三郷小学校がなくなるからPTAはなくなるし、子どもが減っていくから子ども会もどうなっていくのか、という心配があった。

和田委員がいわれたとおり役員が重複している場合が多いという話も聞くし、固定化されていて抜けられないという話も聞いたことがある。あまり自分から情報を取りに行ったり、積極的にグループに入ったりというのをあまりしてこなかったせいか、グループがすごく固定化されているイメージもあるし、何をしているのかわからないグループがイベントを開催したとしても、すごく行きづらいと感じる。私の周りにも少なからずそういう気持ちを持っている方もいらっしゃる。三郷区外に出ていてもたまたま実家に遊びに来てイベントに顔を出したりすれば、そこでまた会話が広がったり人との交流があるとは思いますが、固定化されたところには入りづらいというところもあるのかなとは感じている。体育振興会といえ夏祭りとか、名前を見れば活動の察しが付くところはあっても、実際何をしているのかわからない。同じようなメンバーが同じようなことをしていれば、初めて来る人は入りづらいというところもあると思うので、もっと人もイベントも流動的になっていけば、また新しい波というか、新しい人が入るところにも繋がるのかなと感じた。

竹内さんのお話の中にあつた三郷コミュニティプラザについては、そんな話が進んでいるのだとよい意味でびっくりした。ただし、子どもを置き去りにしていった

らいけないのかなと思う。福祉という面では、児童であったり高齢者であったり様々だと思う、どうしてもこの地域で福祉というと、高齢者に焦点を当てがちになると思うので、数は少なくなるけれども子どもを大事にしていかなないと地域はなくなってしまう。子どもの視点での福祉も取り入れたコミュニティプラザとしていただけるとすごく嬉しい。

【保坂会長】

子どもは数ではない。絶対に大事にしなければならない。未来の三郷を担ってくれると信じている子どもたちを大事にしていかなければならないと私も思う。

【梅川委員】

私はもともと三郷出身ではないので、今日のお話を聞いてすごい歴史のある地域だと思った。三郷まちづくり振興会については、確かに活動が多岐にわたると役員もそれだけ必要になる。私も学校や地域でいろいろな役員をやらせてもらっているが、この会自体はもう少し集約できれば皆さんの負担の軽減になるのではないかと思った。それと空き家の有効利用という話もあったが、心配なのは誰でもどんどん入ってくると、三郷区の治安が悪くなったりしないのかなという不安が若干ある。その辺は今後の話だと思うが、誰でもいいから入ってきてというのはあまりよくないのではないかと思う。全体的には、これから学校が閉校になるが、皆さんがおっしゃっているように、本当に子どもたちのためにより三郷の地域づくりを維持できればと思う。

【保坂会長】

空き家問題、誰でも入ってきてよいというのは、治安との関係もあるので本当にそのとおりだと思う。

【上原委員】

いただいた資料を見て、これだけ多くの団体があることを初めて知った。我々地域協議会が心配しなくても、各団体が活動されれば地域は活性化するのではないくらいの数で驚きもあった。ただ、それが先ほどから皆さんがおっしゃるとおりで、多分同じような方が役員をやられているということも課題と思うが、大勢の方にこの組織自体の存在を広く周知して、何かしら参加できるような形になれば、もっと

もっと幅広く活性化に使えるだろうと思った。

【稲葉里美委員】

今日は貴重なお話をお聞きして、私も皆さんと同じでいろいろ勉強させていただいた。三郷まちづくり振興会は本当にたくさんの部署があって、みんなで関わって三郷を良くしていこうと皆さんの思いがあるものと考えている。いろいろな対象の人がいて、子どもだったり、高齢者だったり、歴史が好きな人だったり、お花が好きな人だったり、様々な対象の方に手が差し伸べられていると感じている。私はこれがあまり多いと感じていなくて、もっともっとたくさんの人に、たくさんの細かいところからの支援も必要ではないかと感じている。

また、三郷地区町内会長協議会とは別の組織で小学校跡地利用をいろいろ考えていただいて、いろいろ市へ要望していただいていることには本当に感謝している。コミュニティプラザという形で跡地利用ができれば、まちづくり振興会の拠点ともなり、三郷区の活性化へ近づいていくのではないかと考えている。三郷区地域協議会では市への意見書も出せると思うので、一緒に活動していけたらよいと思った。

【稲葉恵子委員】

「渡部健蔵」という名前は祖父母が話をしている、名前は知っていたがこんなに素晴らしい方だったというのは今日初めて知った。夫はここで生まれ育ったが渡部健蔵先生をよく知らないようなので、もう少し伝承していかなくてはいけないとつくづく感じた。子どももここに一緒に住んでいないので、正直、文化祭があったということも知らなかった。私は、回覧板以外に地域の情報を知るすべがないので、しっかり回覧板を見ないといけないとつくづく反省している。自分自身ももっと地域のことに興味を持って情報を入手して、いろいろなことを考えていかなくてはいけないと反省している。

【保坂会長】

自分の生活の中で仕事が優先されなければならない年代があったり、そのときの自分の仕事における立場もあったりするので、可能な範囲で地域活動にもご協力いただければと思っている。

【小山副会長】

ほとんど皆さんのほうで感想なり思ったことを話していただいたので、改めて新しい意見というのはないが、先ほど稲葉恵子委員が「文化祭を知らなかった」といわれて、私はわかっている足も運ぼうと思わなかったと反省した。今日も農産物直売所で三郷小5年生のお米販売があるということを知っていたのに行こうと思わなかったのも、私の意識も三郷区のほうに向いていなかったのかと思いつつ意見を聞かせていただいた。私も、三郷まちづくり振興会に繋がる団体については、稲葉里美委員がいわれたように多いとは感じなくて、これだけいろいろな活動をしているグループがあって、それぞれが三郷のために尽くしてくれているのだと感じた。これをまた縮小してしまったりするのは違うのではないかと感じていた。それぞれ役割も違うので、このまま続けていってもらえればと思う。

ただ、三郷小学校がなくなってしまうたら、なくなってしまう団体も少なからずあるのは仕方がないことかとも思いつつ、改めてお話をお聞きした。

【片山副会長】

よく存じ上げていないので恥ずかしい話だが、「三郷のあゆみ」を見て一番気になるのは、三郷地区の高齢化率の上昇は市の平均より高いこと、それは、若い人が少ない、または増えていないということ等が関係してくるのかなということであり、非常に危惧している。

まちづくり振興会については、65歳以上の方が介護状態にならないよう予防のために一生懸命活動されていることがわかった。私も参加者としてではないが、1回サロンに行ったことがあり、70、80歳代の皆さんがそこで元気にわいわい話をしたり、お茶を飲んだりして、体を動かして帰っていくというような内容だったかと思うが、非常に和気あいあいと楽しんでいるように感じた。この地区の高齢化率が高くなっていることは避けて通れないが、これから自分もだんだん歳をとったときに、この地域が本当に住みやすい地域であるためには何が必要なのかということを考えていかなくてはいけないと思っている。高齢化率が上がっていく中でも安心して、元気で幸せに暮らしていくためにはどうすればいいのか、ということをお聞きして何かしら考えていけたらよいと思った。

【保坂会長】

皆さんからたくさん意見をいただいたが、これを自主的な審議事項にどう結びつけていくかについては、改めて正副会長と事務局のほうですり合わせをして、また次回の資料を作成したいと思っている。まだ今後進むべき方向性までにはならないが、またこういう形の話し合いや勉強会のようなものができたらいいかなと思う。私たちはもっと地域のことにアンテナを張り、今どこで何をやっているのか、地域協議会委員になったことをきっかけに意識してやっていただければよいのかなと思っている。それでは最後に竹内さんから感想も含めてお話をいただきたいと思う

【竹内意見交換アドバイザー】

今ほど、片山副会長からお話があった三郷の高齢化率はかなり高くなっている。どんどん高齢化が進んでいくところである。私も今63歳で年金の手続きをしようかなと思って話をしているところである。

今年の夏、体育振興会会長が実行委員会会長となり5年ぶりに夏祭りが開催された。実行委員会の打ち合わせに私も参加したが、PTA関係、子ども会、青少協、食推の委員さんまで全部集まっていた。私もオブザーバーとしていろいろなアドバイスをさせてもらった。運営に関しては5年ぶりということだったので、ある程度業者に頼んだ部分も多かったが、それでも皆さんの協力も欠かせないので、これだけ声かけをすれば、こういう団体がみんな動いてくれるのだな、人材がいるのだなと改めて実感し、すごくうれしかったし感動した。引き続き来年度はもっと盛大にやろうということで、私も参加しながら考えているところである。

皆さんの意見の中では、やはり自ら情報を取りに行かないと情報が得られないというものがあつたが、それが今の時代であるというのも正直なところである。回覧板とか紙ベース媒体も三郷区では多いので、会長のお話のようにグループLINEも作らせてもらったし、非常によく情報を回せたと思う。最近、Enjoy35が法律講座を行った。11月1日から道路交通法が改正され自転車で酒気帯び運転をすると3年以下の懲役または50万円以下の罰金となる。皆さんも飲食店からお帰り際には飲酒して自転車に乗らないようにしてほしいと思っているが、この講座に私も参加したし、その情報も今のグループLINEから発信されてきた。いろいろな情報交換会のグループ、地域振興会の役員のグループLINEもあると思うが、

皆さんもそうしたものに参加していただければと思っている。

私も前地域協議会長であったが、この自主的審議事項についてはなかなか難しく、いろいろ悩んだし、保坂会長とも一緒になって公民館の問題、春駒をはじめ、地域福祉、文化伝承のことも考えながら取り組んできた。先ほど申しあげたように自ら進んで出て行かないと、なかなか地域の情報もキャッチできないというところもあるので、皆さん地域において、いろいろな方の話を聞きながらいろいろな会に出席して、飲み会でもいいし情報をもらって、それを地域のものにできればという思いがある。私の任期中に委員の皆さんと考えた、三郷における地域活性化の方向性が皆さんの自主的な審議のための一つのヒントになると思うので、ぜひ参考としていただき自主的審議事項に取り組んでいただければと思う。

【保坂会長】

- ・その他、質疑を求めるがなし。

以上で次第2 自主的な審議（1）自主的審議事項についてを終了する。

次回に向けて、皆さんから今までいただいた意見をまとめたいと思う。

高齢化率に関して補足すると、実は菟野に「笛吹の里」という施設があるが、住所を施設に移して入居される場合は三郷区の高齢化率に算定されるので、三郷区のあゆみではそういう方は除いて処理をしている。場合によっては、それらを含めて高齢化率を算定しているデータもあるので、少しご注意くださいと思う。

— 次第3 事務連絡 —

【保坂会長】

次第3 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【小池副所長】

会議の開催日程について確認する。

- ・第6回地域協議会：11月26日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・第7回地域協議会：12月17日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館

【保坂会長】

- ・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

1 0 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 0 2 5 - 5 2 2 - 8 8 3 1 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。